

平成 28 年 12 月

## リーダーシップについての研究～将来のキャリアを見据えて～

情報学部 経営情報学科 山崎ゼミ  
B3P21009 石田 優輝

### [卒業論文概要]

4年前もそうであったが、今回 2016 年のアメリカの大統領選では、現状維持ではなく変化を求めた結果が反映されたように思えた。オバマ氏とトランプ氏が政治姿勢や将来の向かうべき方向性が対照的であるように、現状からの変革を求められる時は対照的な人物を求められる傾向があるように思える。このことは一国のリーダーとしての大統領だけでなく、組織や企業のリーダーについても同様に当てはまると考えられる。組織は成長とともに次第に硬直化し、変革がなければ陳腐化し衰退すると考えられている。従って、継続的に成長をしていくためには組織変革をする必要がある。このことは従業員が慣れ親しんだ現状を変えることを意味するが、同時に組織変革に対して従業員の抵抗という問題が生じると思われる。本研究では、(1) 組織変革のために重要な役割を担うリーダーは、どのような素養を備えていれば、組織変革を成功に導くのか、(2) 組織変革をもたらすリーダーは一貫して共通の素養を備えているのか、(3) 様々な状況においてどのように対応することによって、変化や改革をもたらしているのかを探究したい。さらに、従業員の組織改革に対する抵抗の問題解決は、強力なリーダーに依存すると思われるが、そこで本研究では組織変革の成功の鍵である強力なリーダーについての事例を紹介し分析する。最後に、組織改革を成功に導くリーダーの資質は、誰もが備わっているものなのだろうか、またリーダーになるためにはどのような行動を取るべきなのだろうか、つまりリーダーシップ開発についても考えたい。